

第83回大河津分水殉職者慰霊式

1. イベント概要

期 日：平成30年4月14日（土） 10:00～11:00

会 場：大河津出張所周辺大河津分水工事殉職の碑前

内 容：大河津分水工事に関わり殉職された100名の方々を慰霊する式典を行いました。

主催者：信濃川河川事務所 参加者数：約50人

第83回 大河津分水殉職者慰霊式 次第

平成30年4月14日（土）
10時00分～11時00分

1. 開 式
2. 黙 祷
3. 式 辞
4. 挨拶
5. 献 花
6. 閉 式

○大河津分水殉職者慰霊式について
 殉職者は、分水路工事15～19年（明治22～26年）の殉職者のため、近辺文二、田代、田中三河高等（西条、佐野等）が共同人になって寄付金を集め、大正12年（1923年）10月に西条郡新田上村字石地池（現新田郡豊野町高森池（旧石地池））の外縁部（約200m）に慰霊碑を建て、祀祭祭を執行し、ご遺族を弔ったのが始まりです。（当時は殉職者84名の方のお名前を石で「大河津分水工事殉職之碑」に刻印）
 客人である信濃川河川事務所には、毎年1回ご遺族を弔い、以て2～3年毎に秋に実施していましたが、昭和11年（1936年）5月に大河津分水工事に入選後、その後の信濃川補修工事及び大河津分水工事の維持管理工事等を行う中で殉職された16名（昭和14年～昭和20年）の方を含め、100名の方のお名前が石に刻印されています。



昨年度の実施状況



大河津分水工事殉職之碑



石碑・記念碑の位置図

大河津出張所周辺には、慰霊碑の他にも大河津分水工事に従事した石碑・記念碑があります。
 一、信濃川分水路改修之碑
 二、新田第一倉庫
 三、信濃川補修工事従事員一団碑
 四、信濃川補修工事従事員追悼碑
 五、大河津分水工事殉職之碑
 六、筑後河川改修碑
 七、豊野町文化館後援碑



大河津分水工事殉職之碑の前には花輪と供花が供えられました。

2. イベント状況

国会議員の方をはじめ、新潟県知事、新潟市長、燕市長、三条市長、長岡市長ほか約50名がご臨席し、明治42年から大正12年に行われた信濃川改良工事（第2期工事）の殉職者84名、および信濃川補修工事、その後の維持管理工事の殉職者16名の方を含めた100名の御霊を慰霊する式を執り行いました。



開式のあいさつの後、「大河津分水工事殉職之碑」の前で全員が起立し、1分間の黙とうを捧げました。



池田大河津出張所長より「殉職された100名の御霊に対し安らかなるご冥福をお祈り致します」と式辞を述べました。



小俣北陸地方整備局長は「現在の分水路改修事業が越後平野発展の要となるよう地域の安全安心に全力を尽くす」と挨拶しました。



ご臨席された方々、お一人お一人が献花され、御霊のご冥福をお祈りしました。



大川津地区からの参加者の声

大河津分水工事は明治から始まっていますが、燕市大川津地区は明治43（1910）年に集落移転した歴史があり、大河津分水とは切っても切れない関係にあります。犠牲者の中には大川津の方もいらっしゃるの、その方々を偲ぶことができ良かったと思っています。

これからの分水路河口改修工事により災害が減り多くの方々が恩恵を受けることが出来るようになる事を期待しています。